



# 文庫 八事山

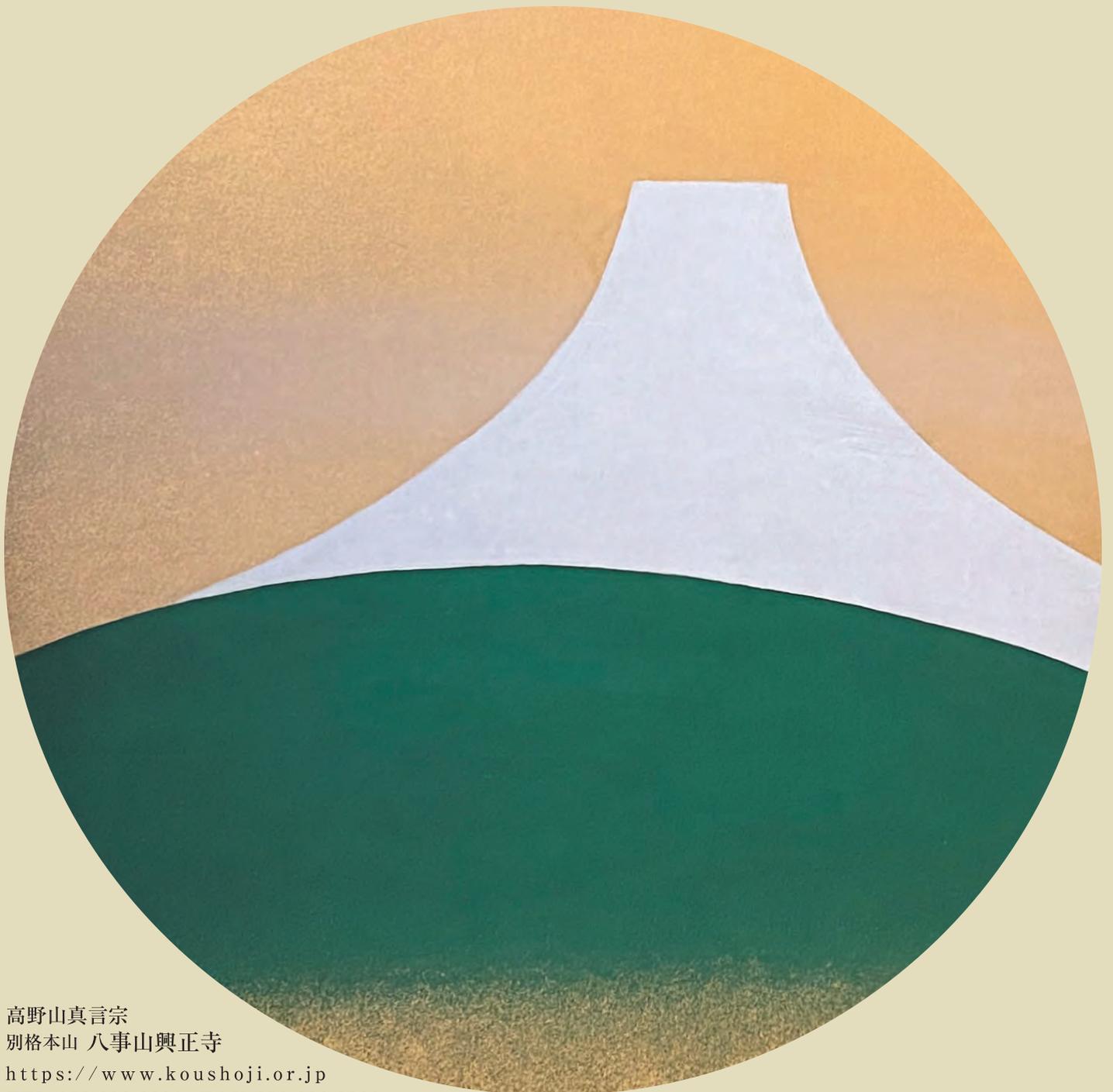
2020・冬

初護摩祈祷会/節分厄除・星祭御札祈祷会

令和2年(2020)11月 [寺報・年4回発行]

発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

## 日々是好日



高野山真言宗  
別格本山 八事山興正寺

<https://www.koushoji.or.jp>  
TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383

# 祈り 日々是好日

明けましておめでとうございます  
令和三年の新春をご家族ともに健やかに  
迎えることと、心からお慶び申し上げます  
昨年は新型コロナウイルスの感染や地震  
台風 集中豪雨による河川の氾濫など  
自然災害の多い年でありました 災害救助  
隊の方々やボランティア活動の方々の懸命な  
活動に感動を致しました  
私たちも日頃から災害に対する準備と心  
構えが必要と感じています

元旦 弘法大師の所縁ゆかりの高野山では山  
内僧侶一同が金堂にて 祈りの法会「修正  
会」が厳修され「除災招福」「五穀豊穰」「世  
界平和」祈願されます

名も高き 尾張高野の 八事山  
塔にたなびく 法の雲影

八事山では 元旦には総門に門松(松竹  
梅)が立てられ 初詣の方々を迎えます  
又 本堂 諸堂仏様へ灯明 花 香  
餅を供え又 當山の先師尊靈 檀信徒の  
ご先祖の「ご供養」「世界平和」「災難消除」  
「五穀豊穰」と皆様のご多幸 健康を祈る  
祈禱が修されます これを修正会と言います  
修正会が終わると山内僧侶たちは諸堂  
のご本尊を巡拝 奥之院にて先師尊靈並び  
に山主に新年の挨拶を致します そして  
一同は本坊に戻り 食堂にて食事作法に  
従い(お粥 牛蒡 煮豆)を戴きます  
それが興正寺では 開山以来の お正  
月のしきたりであります  
☆ 正月は初詣で賑わいます  
☆ 五日の初縁日には「大般若経転読祈禱  
会」を勤めます

松に千年の緑 竹に上下の節あり  
梅は寒風に耐える

松竹梅に託して それぞれの特徴を引  
き人の道を諭えています  
人にはそれぞれの徳がそなわっています  
その徳を活かして 円満な家庭 明るい社  
会を築くことに勤めていきましょう

合掌

長老 高橋 錦瑞

昭和26年入山。昭和48年執事に就任し25年務める傍ら林昌院の復興を命じられ  
地元の皆様の大支援により復興。平成14年に権大僧正に補任。當山の最長老。  
高野山真言宗愛知支所 顧問・高野山真言宗 林昌院 名誉住職  
華道高野山師範・茶道松尾流師範



令和三年「辛丑」  
かのとうし

尾張徳川家祈願所

# 新年初詣



## 新年初護摩祈禱会

元日より一月四日

時間 十時～十五時(十二時除き一時間毎)

※元日は、零時あり

※所要時間は約40分

祈禱料 五千元、一・二・三・五万円より

札が異なります

申込当日(於納経所)

※電話でのお申込みはお受け出来かねます。

※遙拝祈禱：当日に参列できない皆様には、後日、御札を送付致します。

※お申込みは、事前に納経所にて。

法人・団体祈禱「貸切」

日時 一月五日～二月二十八日の希望日時

祈禱料 護摩祈禱 二十名まで 三万円より

大護摩祈禱 三十名まで 五万円より

特別大護摩祈禱 百名まで 十万円より

申込公式サイト・電話にてご相談ください

新年のお供えに 奉納正月餅

一口 千円 お名前をあげさせていただきます

申込 来寺(於納経所) 一月四日まで

露店 大晦日より正月三日迄

## 興正寺の初祈禱

### 秘法の『護摩』

真言密教の秘法として『護摩』を焚き、皆様の願事成就の為、初祈願をお勤め致します。『護摩』は、仏さまの智慧の炎で私たちの煩惱を焼き清め、それぞれの護摩木に願意を書いて家内安全、商売繁昌、心願成就等を祈願します。お護摩は、新年等の特別な日にのみご参加いただけます。 ※厄除けは二月の節分厄除祈禱会・星祭開運祈禱札をお勧めします。詳細は七頁。



## エコバック持参のお願い

世間ではレジ袋の有料化が始まりました。自身の出来ることを少しずつ皆様にもご協力をお願いいたく、授与品をお求めの際はなるべくエコバックを持参ください。おひとりおひとりの力は集まると大きなものになります。

日本の伝統文化、風呂敷を試し触れてみていいかもしれませんね。



僧侶には、仏僧の修行(頭陀行)を表す梵語のDhūtaから『頭陀袋』が伝わっています。

興正寺、お正月のおもてなし 迎春呈茶

金粉入りお抹茶と正月菓でおもてなしいたします。

日時 元日～一月五日

十時～十六時

場所 竹翠亭

拝観料 五百円

予約 要(電話・公式サイトより)

※コロナ対策の為、人数制限あり



## 新年干支巡り

招福の「飾り絵」色紙

丑年縁起物

千円(朱印含)

色紙に朱印を押しながら諸堂を巡り、十二支の守り本尊にお参りしましょう。



興正寺ですごく大晦日

十二月三十一日

## 除夜の鐘

場所 観音堂

受付 当日

二十三日より

(五重塔付近)

志納 百円

(護摩木含)



## 年始のご供養について

元日～一月三日

年始はご供養のご要望が多い為、年始のご供養は合同供養にて勤めます。

時間は、十一時半～十三時半(各十五分前までに受付を)。受付・供養場所は圓照堂(圓照堂以外の墓地・納骨堂の方も圓照堂にて)。予約は、電話は0528322801。来寺は納経所・圓照堂。尚、個別供養については事前予約且つ、可能な場合のみとなります。ご了承ください。

### 要予約

## 圓照堂お骨出しについて

元日～一月三日

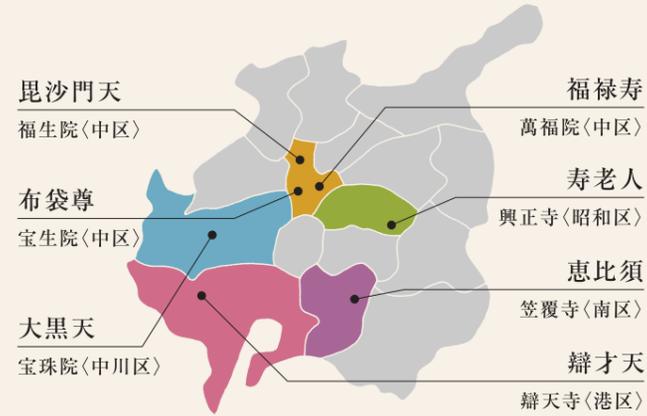
右記期間中は、事前予約にてお位牌出しを承ります。お骨出しは出来ません。ご了承ください。

締切は、希望日の前日十五時まで。予約は、電話は0528322801。来寺は圓照堂・納経所。

1日で縁起巡り

# なごや七福神めぐり

馴染みの深い神さまを巡って、新しい年にたくさんの福を呼び込みましょう。巡り方は自由です。



**南区**

笠寺観音 笠覆寺

電話 052-821-1367

恵比須 商売繁昌

**中川区**

如意山 宝珠院

電話 052-361-0638

大黒天 開運招福

**中区**

袋町お聖天 福生院

電話 052-231-5261

毘沙門天 七福即生

**港区**

多加良浦 辯天寺

電話 052-381-2306

辯才天 福德自在

**中区**

成田山 萬福院

電話 052-241-7670

福祿寿 延寿福楽

**中区**

大須観音 宝生院

電話 052-231-6525

布袋尊 諸縁吉祥

**昭和区**

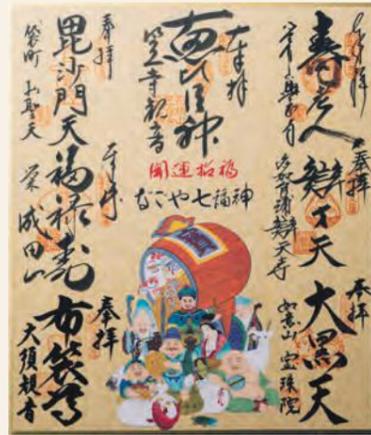
八事山 興正寺

電話 052-832-2801

寿老人 不老長寿

寿老人も南極老人星の化身で長寿の杖を持ち、玄鹿を伴っています。玄鹿は1500才を経たる鹿で、人若しこの肉を食べるとき、2000才の寿を受ける事が出来、延寿の神として祀られています。

大色紙・三つ折り色紙 各1,500円



❖ 効率の良いおすすめルート

巡り方は自由です。夕方には納経が閉まる場合が多いので、昼頃までには前半の四ヶ寺の参拝を済ませると良いです。

宝珠院 → 辯天寺 → 笠寺観音 → 興正寺 → 福生院 → 萬福院 → 大須観音



なごや七福神めぐり 公式サイト

※行事や混雑時などのさい、手書き朱印や大色紙の対応をお受けしかねる場合がありますのでご了承ください。

# 新年の縁起物

年の始まりは一年を振り返りつつ、新しい気持ちで年明けを迎えたいもの。新年など、人生で大切なことがあると不思議に神さまや仏さまに頼りたくなる思いがあります。それは、日本人にとって自然なことでしょう。自身やご家族のため、新年のご挨拶にいかがでしょう。皆さまを思い浮かべるきっかけに。



興正寺の十二の干支守り本尊様の力を一枚の色紙に集め、ご家族の招福を願う縁起物です。  
丑年飾り絵色紙 千円(朱印舎)



宝来は、弘法大師空海が中国からもたらしたと伝えられる切り絵で、しめ縄のように玄闔や床の間、仏間に掛けます。お正月に掛け替えて、二年間飾ります。  
宝来 五百円

興正寺の破魔矢は弓と矢のセット。魔除けと家内安全の縁起物です。  
破魔弓 千円



干支絵馬 五百円



コロンとしたかわいい陶器の丑の中におみくじが入っています。今年の運勢を確かめた後は、縁起物として年間お側に置いてあげてください。  
干支みくじ 三百円



令和三年

# 節分・星祭

豆撒きで鬼を払い 福を招き  
星祭で星を供養し 星に祈る

## 星祭

一年間家でお祀りし、  
災いを引き受ける御札

世相等により掲載の  
予定(参拝方法色)は  
変更・中止となる場  
合があります。  
最新情報のご確認は  
公式サイト・電話に  
てお願い致します。

## 星祭開運祈禱札

受渡し期間 二月五日～三月五日

九時～十七時(於納経所)

祈 禱 料 五百円～三万円 札が異なります

## 節分

豆をまいて厄を払う

## 節分厄除祈禱会

日 程 二月二日

時 間 十時・十三時・十八時

場 所 西山本堂

祈 禱 料 五千円より(祈禱・豆まき(枍付き))

※御札は「星祭」を申込ください

※当日は靴袋をご持参ください  
※各回十分前より受付  
※受付順に各回十五名ずつ祈禱致します  
※時間中、まかれた豆を西山本堂内(外陣)にて  
お受けいただけます(無料)

## 御札と星祭

自身に降りかかる難を替わりに受け、災厄を少しでも小さくしてくれる守り札。星祭では、密教占星術の教え(宿曜経)を基に各々の当年属星を供養し、祈禱をして皆様に授けます。  
「厄年にあたる方でも、近い方の厄を受けてしまう事がある」とされるため、近い方それぞれの御札を持つのが風習です。

## 追儺式と節分・星祭

立春前日の節分、除災招福を願って豆を撒く伝統行事は、日本古来のさまざまな風習を含み、密教の秘法である「星祭」と合し「節分・星祭」として伝わります。この日に興正寺では、多くの方が星祭の御札と節分の豆撒きを合わせてお受けになります。

鬼は災いや疫病の具現化として描かれている事が、図絵にはよくあります。皆様の『鬼』は外からの魔、自身の内からの魔、どこに居ますか？

## 想耕茶会[福豆茶席]

2月2日

節分の日の竹翠亭恒例になりました特別煎茶席です。

※詳細は10頁



## 令和三年の恵方は南南東

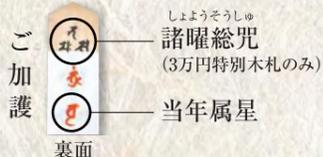
一年の福徳をつかさどる神とされる方位神のひとつとされる、この歳徳神がいる方位は全てにおいて大吉とされ、この方位を恵方(めぐみほう)といわれています。福が訪れますように。

## 星祭開運祈禱札

紙 札	木 札
紙札 500円	大木札 5,000円 中木札 3,000円 小木札 1,000円

## 特別木札

特別木札 30,000円 / 10,000円



特別木札(1万円・3万円)には、ご本人の当年属星(当年九曜星)を記し、西山本堂内に1年間お名前をあげさせていただきます。

※御札の大小に関わらず、施主名が裏書きされます。

## 申込・締切

申込 郵送受付(払込)

申込書に記入、返信用封筒で返送。  
供養料は郵便局より払込み。  
締切 節分、星祭共に  
一月二十五日

※電話での申込みや現金の郵送はお受け出来かねます。ご了承ください。

申込 来寺受付(現金)

納経所(受付)にて、申込書と祈禱料を  
お納めください。「8時～17時」  
締切 節分 二月二日(当日)  
星祭 一月三十一日

※申込書の控えはお手元に大切に保管してください。

十二月

三千仏名会〔懺悔会〕

十二月一日～五日

この三千仏名会を今に至るまで行っている寺院は少なく、新しい年を迎えるにあたり、僧侶として研鑽に努める者が一年間に犯した罪障を取り除く大切な法会です。

場所 西山本堂（一般参加不可）

大日堂すすはらい

十二月八日 十二時半～十三時半頃

興正寺総本尊の胎藏界大日如来さまに報恩謝徳の気持ちを込めて煤払いを勤めます。

場所 大日堂  
申込締切 不要



宝物展 朝鮮通信使と尾張

十二月八日～十三日 十時～十五時半

室町以降、十二回に及び朝鮮から使節団が釜山―大坂―京都―江戸へと東海道を進み、その道中で人々を驚かせました。その行列の様子を描いた品が興正寺にも残されています。長い巻物を紐解き、どのような人やモノが日本を縦断し、影響を与えたのかを江戸時代の尾張の文化とからめて見ていきます。

場所 竹翠亭  
申込締切 要（人数制限あり）  
公式サイト・電話  
拝観料 五百円（呈茶付）



終い弘法

十二月二十一日 十時半～十二時頃

毎年十二月二十一日は「終い弘法」と云われ、お大師さまを憶念する重要な縁日です。一年間の報恩に感謝を捧げましょう。

場所 弘法堂  
申込締切 不要（定員あり）



一日修養会

十二月十二日・一月十七日

令和二年度は干支守り本尊を学ぶ布薩と題し、境内にお祀りされている干支の守り本尊さまに焦点を当て、おひとりおひとりについて学んでゆきます。残すところ、二回となりました。単講座でも受講いただけます。

十二月十二日 普賢菩薩（辰・巳年）  
一月十七日 文殊菩薩（卯年）

講師 榎田英伸僧侶

場所 光明殿

時間 十時～十四時

概要 供養・勤行↓法会↓昼食↓干支本尊参拝↓瞑想（十二月十二日は写経あり）  
支具料 二千円（精進料理弁当昼食含）  
申込 要 普照殿受付にて各回三日前まで

年忘れ大もちつき大会

十二月下旬 時間未定

新しい年が実りある年になるようにと願いを込め、年神様をお迎えする準備の餅つきであります。つきたてのお餅が振舞われます。

※世相により、変更・中止する場合がございます。問合せは主催にお願い致します。

場所 五重塔前

主催 名古屋イーストライオンズクラブ  
（電話 052-763-3221）

除夜の鐘

十二月三十一日

時間 二十三日より受付  
受付 五重塔付近  
申込 当日  
志納 百円より  
（護摩木一本含む）



初護摩祈禱会

一月一日～四日

※詳細は三頁

大般若経転読祈禱会

一月五日 十時半

新年迎えて最初の大般若経転読祈禱会を厳修致します。令和二年は疫病退散を願うことが多かったですが、令和三年はそれに合わせて皆様の身体健全・商売繁昌などを願い、コロナに負けない一年になるように勤めます。



祥月忌合同供養会

一月十日

供養対象 全ての納骨堂納骨者  
場所 西山本堂 十三時・圓照堂 十三時半  
供養 一霊 五千円より（当日受付）

祥月忌合同供養会

一月十七日

供養対象 圓照堂納骨者  
場所 圓照堂 十三時半  
供養 一霊 五千円より（当日受付）

成道会（旧暦十二月八日）

一月二十日 十三時

お釈迦様は「生老病死」の四苦を受け止め、この年の安らぎを得る為六年もの苦行を続けられました。苦行では安らぎを得られないと感じ、苦行を止め、身体を癒やし、菩提樹の木のもとで座禅に入る事で悟りを開かれました。お釈迦様の悟りを讃え実践するため勤める法要です。



初弘法

一月二十一日

本年は世相により、僧侶のみで勤めさせていたできます。ご海容くださいませ。

文化財防火デー 消防訓練

一月二十五日 十時～十時半

国指定重要文化財「興正寺五重塔」を含む境内のお堂と参拝者の安全を守るため、毎年文化財防火デー（一月二十六日）の頃に消防訓練を実施しています。訓練はご見学いただけます。



※雨の強さで、屋外訓練は中止の場合あり

二月

節分厄除祈禱会  
星祭御札祈禱会

二月二日

※詳細は七頁

想耕茶会〔福豆茶席〕

二月二日

節分の日の竹翠亭恒例になりました特別煎茶席です。ほうじ茶釜の中でおいしく煮えた福豆をご参加の皆さんがすぐいます。邪魔をする鬼に悪戦苦闘しますが、皆で笑い合い福を呼ぶ楽しいお席です。初めての方、大歓迎です。



場所 竹翠亭  
時間 十時・十一時・十三時・十四時  
茶券 千五百円  
申込 要（十二月二日より受付）  
定員あり

申込方法 電話・来寺（何れも十時～十六時）

祥月忌合同供養会

二月七日

供養対象 全ての納骨堂納骨者  
場所 西山本堂 十三時・圓照堂 十三時半  
供養 一霊 五千円より（当日受付）

祥月忌合同供養会

二月十四日

供養対象 圓照堂納骨者  
場所 圓照堂 十三時半  
供養 一霊 五千円より（当日受付）

八事夢講座

「芸処名古屋」クロニクル

尾張名古屋は芸処。根生いの名古屋人にとっては、耳馴染ですが、今は「昔は芸処だったか今はそうじゃない」という言葉を屢々聞きます。これはたいへんな間違いで、有り様が変わっても、今も昔も変わることなく、芸処で有り続けているのが、尾張名古屋。芸処とは、芸を教える人、習う人、支える人、この三者が一体となったところに成り立ちますが、実はそれらの要素の基礎となる土壌が重要です。テキストを用い、古代から現在までの名古屋をご紹介します。



全六回 第一回 十月二十一日  
第二回 十一月十八日  
第三回 十二月十六日  
第四回 一月二十日（令和三年）  
第五回 二月十七日  
第六回 三月十日  
既報より日程変更あり

時間 十三時半～十五時半  
（開場は三十分前）  
講師 安田文吉（東海学園大学客員教授）  
場所 光明殿  
申込締切 要（定員あり・当日受付不可）  
申込方法 公式サイト・電話 納経所  
受講料 千円（当日）  
※講座テキスト購入別途



書籍「芸処名古屋」  
（講座テキスト）

令和三年 年間行事予定

一月

一日 修正会  
一～四日 初護摩祈禱会  
五日 大般若経転読祈禱会  
二十日 成道会（旧暦十二月八日）

二月

二日 節分厄除祈禱会  
星祭御札祈禱会

三月

十七～二十三日 春季彼岸合同供養会  
二十日 永代祠堂法会  
（春彼岸お中目）  
人形仏具供養会  
興正寺施主慰霊法会  
動物慰霊法会  
涅槃会（旧暦二月十五日）

五月

二日 御正當（旧暦三月二十一日）  
五日 大般若経転読祈禱会  
十九日 花まつり（旧暦四月八日）

七月

十四日 七月盆合同供養会  
二十四日 青葉まつり（旧暦六月十五日）

八月

一日 施餓鬼法会  
十日 観世音菩薩九万九千日  
十一月 興正寺施主慰霊法会  
十二日 初盆合同供養会  
十五日 精霊送り  
十六日 大施餓鬼法会  
布薩会

九月

五日 大般若経転読祈禱会  
二十～二十六日 秋季彼岸合同供養会  
二十三日 人形仏具供養会  
（秋彼岸お中目）  
興正寺施主慰霊法会  
特別永代祠堂法会

十月

九日 千燈供養会・稚児行列

十二月

一～五日 三千仏名会（懺悔会）  
三十一日 除夜の鐘

※マークの法会では、特別朱印あり

# 寺のいとなみ

午前八時

ざっざっ ざっざっ  
遠く聞こえる音から、重なり落ちる葉を掃く様子を  
思い浮かべた私は、境内散策が板についてきたかな？  
と自分を小さく褒めながら、ずいずいと音に近づい  
ていきます。

夏は涼風の朝、一日を通して吹き荒ぶ烈風の秋、  
冬は暖かく穏やかな日中、境内では一年中、手入れ  
姿を見かけます。ご縁日の今日は、参拝者のお迎え  
にと参道を掃き清められていました。

落ち葉と踊る竹箒の穂先の奥に「こんな花が咲い  
ていたっけ？」と季節の芽吹きに心咲くことも。



何気なく過ぎてゆく時間の中、意識  
が向く瞬間です。

ここを掃きさらし動かされること  
で私は恩を感じています。いつの頃

何気ない日常は、恩の巡りの宝庫  
ですね。

か耳にした『三つの恩』  
という話を思い出しま  
した。  
知・謝・報、この三つ  
の恩の巡りが幸せを結  
わうという話。  
今日は、手入れの気持  
ちを教えられた恩、知  
る事で感謝を伝える事  
が出来た恩、そこに、  
小さな野花を見つけた  
喜びの恩。

## 七ヶ月参り

大随求明王は無病息災や安楽往  
生の仏さま。通称「ぼっくりさん」  
と親しまれ、お参りすれば「寝  
付くことなく」「下の世話にもな  
らず」「安楽往生できる」と信仰  
されます。通称には思いもよら  
ないですが、安産の仏さまでも  
あります。  
七ヶ月参りは、この大随求明王  
さまへのお参りとして興正寺独  
特の参拝方法です。



# 想いを かたちに

人は生まれてから最初にいただくも  
のがあります。それは名前です。  
子供の未来が明るいものと願いを  
込めたりします。この世に生まれて  
くる前からその子供を思う気持ちと  
いうのは父母の愛であり、親とい  
うのは偉大です。

そして最後に頂く物も名前です。お  
葬儀を行う際にお授けいただく「戒  
名・法名」になります。本来の戒名  
とは、亡くなってから付けられる名  
前ではありません。仏弟子にな  
った証として出家をする際に与え  
られるもので、生前に授かるもので  
した。今では葬儀の際に戒名を授け  
るようになりました。

生前に戒名を授かることを「逆修<sup>ぎやくしゆ</sup>」  
や「預修<sup>よしゆ</sup>」といい、生前に自らの手  
で徳を積むことをいいます。生前に  
行うことでより多くの徳を積めると  
言われております。どんな思いを込  
めて自身の名前が付けられ、あの世  
に旅立っていくのか、亡くなってあ  
の世に行く際の名前は知っていた方  
が自身の心持も変わっていくのかも  
しれません。命の終わり迎えるにあ  
たりお寺でできる終活の一つなのだ  
と思います。

先日、私も師僧に新たに名前を付け  
ていただき、その名前には色々な思  
いが込められていて私も気持ちを一  
新して精進をしていきたいと思っ  
ております。

法要・葬儀など、ご不明な点は  
お気軽にご相談ください。

# 内観の旅路

生は自らが望んで得たものではなく、  
無明業力の因縁によって、自然に生じた  
ものであるといえる。

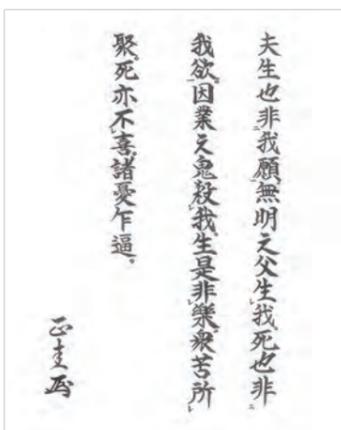
また死は人間が欲す欲しないにかかわ  
らず、因業がつけば自然に死滅するも  
のである。

また我々凡夫の生涯は、楽しきことの  
みではなく、時としては苦しいものであ  
り、死もまた喜びではなく、輪廻のおき  
てに従って餓鬼地獄などの苦悩にさいな  
まれるものと知るべきである。

生死の因縁とはこのようなものだ。

弘法大師 性霊集より

いち早くコロナ禍が収まりますように…。



僧侶 犬塚正圭 (文・写真)  
昭和57年生まれ。両親と高校の担任に言葉巧みに  
高野山大学に進学させられ、鬼監督の指導の下  
で修行成満。平成19年入山。よく布袋尊に間違  
えられる。



僧侶 鈴村智弘 (文・写真)  
昭和54年生まれ。お大師様の御入定と同じ3月  
21日に誕生というご縁もあり自然と僧侶を志す。  
興正寺の講座では御詠歌入門講座と初級講座を担  
当。

「努力・協力・集中力」これは私が小  
学校五・六年生の時のクラス標語である。  
あれから約三十年未だに覚えてはいるの  
だが、なかなか実践となると恥ずかしい  
限りである。  
祖父の代からご詠歌をしているのだ  
が、自分は祖父や父から頂いたセンスの  
みでここまで来ている。と言うと聞こえ  
は良いが何も努力をしていないだけのこ  
とである。

ご詠歌での目標は祖父や父のようにな  
る事。だが、それには相当の努力が必要  
で有る。解かってはいるのだが自分にと  
ても甘いので今に至っている…。  
少しでも父に追いつける様に努力しな  
ければ。

「病気になるって良かったです」と話し  
てくれたのは、毎日 足を引きずりなが  
ら 散歩に来る参拝者である。  
話を聞くと、彼は数年前に脳梗塞を  
患ったそう。しかし、彼は病気のおか  
げで色々なことを感じられていたとい  
う。「もし、病気になるっていなかったら、  
今頃 バリバリ働いて この季節の移り  
変わり、人のぬくもりを感じることもな  
く 過ごしていたと思う。」

心暗きとき 即ち会うところ悉く禍なり

空海

心が暗く過ごしていると色々なことが  
災いに思えてくると言う意味である。  
コロナ禍で新しい生活様式に慣れてきた  
今だから、心にゆとりを持って過ごした  
ものだ。



僧侶 杉浦宣秀 (文・写真)  
昭和52年生まれ。平成10年に入山。毎月ゼロ  
のつく日にストレスゼロを目指し阿息観を指導。  
瞑想を通じ幸せの在り方を布教中。高野山「阿字  
観体験」指導者。



**吉祥文様をさがして**

吉祥文様は縁起の良い動植物や物品を図案化したものです。人生の節目や年中行事など祝い事にはつきものの文様で、繁栄や長寿への願いが込められています。

古くは大陸から伝わり、龍や鳳凰、松竹梅、四君子など中国文化が色濃く反映されていましたが、意外なものに蝙蝠の文様があります。西洋では良いイメージがありませんが、東洋では害虫を食べる、「蝠（フ）」の音が「福（フ）」と同じである、「百歳の寿を保つ」長寿の象徴であることから、吉祥文様として用いられてきました。

平安時代になり遣唐使が廃止されると日本独自の和様文化が発展し、扇、熨斗、橘、藤などが有職文様として貴族の装束や調度品に用いられるようになりまし

**竹翠亭の行事**

- ◆ マルシェ茶席(毎月二十一日)
  - ◆ 初心者のお茶席体験(毎月二十一日 十三時半・五百円)
  - ◆ 福豆茶席(二月二日) ※詳細は十頁
  - ◆ 新年の室礼(二月日・十三日)
  - ◆ 節分の室礼(二月三十日・二月三日)
  - ◆ 桃の節句の室礼(二月二十七日)
- 竹翠亭含む普門園拝観はご予約優先です。予約は、公式サイト・電話にて。

た。その後武士が台頭した鎌倉・室町・桃山時代には、能楽・茶道・絵画といった芸能分野だけでなく、建築や造園にも武家好みの意匠が取り入れられました。

江戸時代は庶民も文化を楽しむ余裕ができ、とりわけ元禄時代は町人が主体となった文化が育まれました。経済的に豊かになったことで学ぶ機会も生まれ、語呂合わせや故事、物語、詩歌に題材を得るといった教養を必要とする文様も考案されました。鎌と輪とぬで「かまわぬ」、地震除けのおまじないの「瓢箪鯨」、羽衣天女の「羽衣に松」などがそれぞれです。

めでた尽くしのお正月、あなたはどんな吉祥文様に出会えるでしょうか。

**新春のごちそう**

趣向をこらしたおせちがどこでも買える昨今ですが、それぞれの家庭で大切に作り続けてきた思い入れのある正月料理もあるでしょう。地域や家庭によって味や種類もさまざまですが、おせち料理にはおいしさだけでなく、目で見る楽しさや、その場を明るくする力があり、ひとつひとつの料理に意味があって、縁起がいいことが楽しいところです。

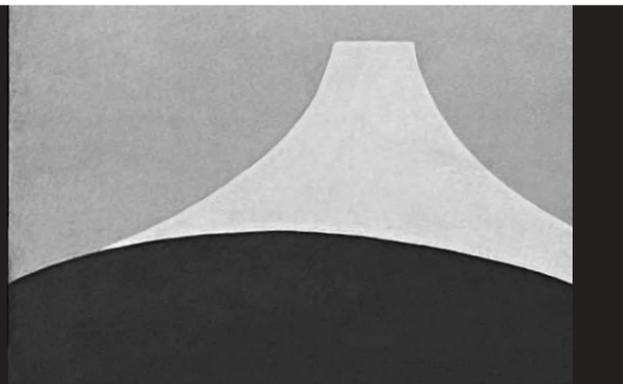
おせち料理をいただきながら、それぞれの料理にいろいろな意味があることを話題にしてみたいかがでしょう。おめでたいの鯛。黒豆はまめに暮らせませすように。きんとは金団と書いて財宝を呼びます。昆布巻はよろこんぶ、橙は代々の子孫繁栄。えびは腰が曲がるまで長生きできますように。さといもは子宝に恵まれますように。語呂

合わせやことば遊び。昔の人たちのおおらかさやユーモアが感じられると思います。

今年もおせちの料理本が本屋に並ぶ頃です。なにかひとつ、新しい伝統の味に挑戦してみようと思います。



興正寺で  
出会える、  
日本に息づく  
おもしろみ。



魅力の  
カタチ  
KATACHI

円なる富士

**遠くて近い富士**

あたまを雲の上に出し  
四方の山を見おろして  
かみなりさまを 下に聞く  
富士は日本一の山  
幼いころに聞いた童謡『ふじの山』。口遊むと、ゆつたりと裾野を広げた富士の姿が浮かびます。祈りの対象として、吉祥の象徴として、古来よりその神秘性を崇められ霊峰とされてきた富士。今ではおだやかなたたずまいを見せていますが、古くは噴火や溶岩流で恐れられ、遠くから拝するものでし

た。時代が下り十二世紀頃から火山活動が沈静化して修験者たちが修行の場として分け入るようになり、十五、六世紀には修験者に先導された一般の人々も信仰登山をするようになりまし

た。多くの人が富士に向かうようになったのは戦が終わり経済的にも世の中が安定してきた十七世紀後半のこと。現在でも富士登山は国内外を問わず人気がありますが、人々の意識は信仰から憧れへと変化してきています。

**幸いを見る**

さて、「富士を望む場所」は古今問わず人をひきつけてきました。葛飾北斎の版画集『富岳三十六景』は霊峰富士を様々な構図で描き



富士図 伊勢門水筆

出し、富士のある風景が神秘性だけではなく人々の営みと共にあることに気づかせ、三十六図のはずが実際には四十六図となるほどに人気を博しました。

画業を志す者、生業とした者たちにより描かれた数多の富士の中でも、伊勢門水が描いたこの『富士図』は異色ではないでしょうか。緑豊かな山々の上に白く聳える富士は、神秘的な霊峰ではなく、おおらかに優しく微笑むようにいくつもの円で形づくられています。洒脱で楽しいことが大好きだった門水ならではの富士は、主役としてではなく、そこから広がる幸いを描き出しています。いつまで眺めても飽きぬ不思議な魅力に穏やかな心もちになりました。

## 空華翁の花がたり



を纏いながら一年を締めくくる。八事の山にはこの頃から四季桜（冬桜）が、白と見紛うような薄紅の花をつける。春とは違い花期は長きに及んで、その優しい花びらを頭上に舞わせる。また、山のあちこちに千両や万両が、半年もかけて少しずつ育んだその実を新たな年のために赤く染め、艶やかな輝きを見せてくれる。南天の実の赤や、柗の濃い緑が、難を幸いへ転じ、永い安寧を祈る皆の心を乗せる。我らの願いは尖った風にのり、我らの祈りはやがて柔らかな眼差しで神仏の元へ届く。「願いと祈りはどう違う？ 神仏に手を合わせ、心届けるその時に、祈願祈禱の一言で片付けていないか？」ほころびを待つ梅の木陰に、空華翁の声が鋭さを込める。

小さな生き物に翻弄され、我らもまた自然という絡繰りの微小な鎖の一つだと感じた一年が、まさに過ぎようとしている。この号が出るのは霜月、暑すぎる夏を超え、寒さに備え、新しい年を迎えるために生き物達は装いを新たに新年を迎える。明日への期待と祈りを込めて、生き抜き、その定めを全うする冬…。その冬の初めに、鮮やかな色を見せはじめる石路の花やミカンの果実の黄色が、長きに渡って寒々とした灰色の景色に灯りを灯す。やがてサザンカや椿が様々な形でその姿を見せ始める。椿の花の形は少しずつ様変わりして、自分に一番ふさわしい姿を探す。一つ一つの花の中に、まるで祈りを捧げるよう幼子の姿が見え隠れするようだ。手を一生懸命握り込んで、あるいは明日へその小さな腕を懸命に差し出すように、衣を重ねたり、色を重ねたり、うつむいたり、空を見上げたり…。皆、見事に一番素晴らしい自分を探す。小さな名も無き草花たちも、そこに精一杯の工夫と、命を賭けた真剣さと、狡猾さ

絵 椿(岩根紋り)  
場所 西山八幡社下、その他

人の一生を見守る仏様

八事山  
遍照院  
興正寺  
境内全図

八事山興正寺は、東山遍照院、西山普門院とに分かれています。正面から入り中門をくぐると、釈迦牟尼大仏、五重塔、西山本堂と縦一直線に並んでいます。

西山の一番奥に位置し、現在は『西山本堂』と呼ばれる御堂は正式名を『西山阿弥陀堂』と称します。

現在、興正寺の中心の仏様は、東山遍照院の最も高い位置に祀られている総本尊の大日如来です。それに対して、西山普門院は五重塔を中心とし、西山阿弥陀堂が荘厳されています。

この西山阿弥陀堂は元禄二十三年、ほぼ三百年前に建てられました。本尊阿弥陀如来様は、慈覚大師円仁の御作と云われ、慈覚大師円仁は、天台宗比叡山の第三代目の座主になられた方です。すなわち、ほぼ二百年前の時代になります。

慈覚大師円仁は、貞観六年（八六四年）天台宗比叡山の学僧で、入唐八家（最澄、空海、常暎、円行、円仁、恵運、円珍、宗叡）の一人で有名な高僧です。

御堂は三百年、仏像だけが千二百年の歴史がある。考えると不思議なことで、この阿弥陀様は、最初この寺院に安置されたかは、記録もなく定かではない。その長い歴史の流れを私は、火災や天災、寺の焼討ちなど、様々に大変な動乱をくぐり抜けてきたのだと推察しています。時々、御堂が焼かれる前に、身をもつて僧侶や信者が仏様を守るため安全な所に移動させたような事の繰り返しで、現在のは阿弥陀堂の本尊として落ち着いたのではなからうかと思えます。千二百年の歴史の中で、この阿弥陀如来様はその時代、その時代の人々がいろいろな事を願い、救いを求め、後生浄土を祈る人々を長い月日を越えて見つめてきたと思います。今もなお、我々を見守ってくださいという阿弥陀如来様に祈りをこめて合掌したいと思います。

合掌



## 八事山 古地図 探訪



# わびさびの渋さ

## Chapter 3 ジャパニーズ・愛 JAPANESE EYE

う。わかりやすい、派手な楽しみはないかもしれませんが、わかる者同士が囁みしめる、ひそやかな味わいの「渋さ」があるのです。

あえて質素をえらぶ。そこに、成熟した気品が立ち昇ります。そしてそれは単に美意識に留まるのではなく、日常のリテラシーへと流れ込みます。陰ながらの気づかい、人に知られぬ善行(陰徳)を積むこと、ささやかな日常に対する感謝…。

「わびさび」は、確かに西洋の「廃墟の美」に通じるところもありますが、しかし虚無感や退廃的気分が呑まれることなく、むしろより一層、不完全なものへの細やかな愛情に辿り着く、力強い前向きな美意識なのです。日本人は一見、自分を主張せず従順で大人しい人種に見えますが、その心の芯には「わびさび」に美を見出す逞しさとしなやかさが秘められているのです。

core, they have a hidden resilience and flexibility that allows them to see the beauty of wabi-sabi.

### Tea ceremony experience

Reach beyond time and enjoy the essence of Japanese culture. The preparation and drinking of tea is central to the culture of Japan. At Chikusui-tei, Matcha tea and confectionary are even more delicious in a fine example of traditional architecture that was built in the TaishoPeriod(1911-1925). COST▶ A bowl of Matcha tea and a piece of traditional Japanese sweets are included in the 500 yen admission fee to enter Fumon Garden.(Reservation required) am10:00~pm4:00/irregular holidays

「わびさび」といえば日本文化、特に茶道をイメージしますが、そのはじまりが日本の詩歌である連歌の美意識「冷え枯るる」から始まっていることは、日本人にもあまり知られていません。日常のなかの「さびしさ」を詩的に昇華し、あえてそれに向かい合う強さ。そこにこそ見出される、孤高の在り方。連歌は、この美意識を共有した人同士が連綿と歌い続けた芸術です。

身分の高い武家ではなく、低い身分の武士や世を憐んだ隠遁僧たちが、わびしい住まいで十分とは言えない道具でおこなった茶の湯の楽しみに、やがてこの美意識を積極的に見出すようになり、「わび」「さび」と呼ばれるようになりました。

「わびしい」とは物が欠乏した状態で、悲しくなる心象を言います。「さびしい」は寒々として内面が冷えてゆくこと。また、金属が時間を経て錆びた状態も差します。共に日常の中ではマイナスの心象ですが、それらを「詩的」ととらえることで美を見出し、美と自覚することで強く向かい合

Many people think of Japanese culture, especially tea ceremonies, when they hear the term “wabi-sabi” but the origins, which lie in the “hie-karuru” (lit. “chilled and withered”) aesthetic of renga (Japanese linked verse poetry), are not widely known even among the Japanese people. The poets took the loneliness of everyday life and sublimated it poetically, discovering how solitude ought to be. Renga is an art that consists of people sharing this aesthetic continuously reciting their verses.

When the lower-class warriors and hermit monks who despaired of the world in their lonely homes were excited about holding tea ceremonies with their inadequate tools, they began proactively expressing this aesthetic, which later came to be known as “wabi-sabi.” “Wabi” expresses a state of scarcity and a saddening image. “Sabi” expresses a frigid feeling that chills the inside. It can also refer to metals that have rusted over time.

Though these are both common negative images, by interpreting them in a poetic way, the beauty within them is discovered. Acknowledging the beauty allows one to confront them with strength. Even if there is no fancy fun to it, there is a bitterness where those who understand it can subtly digest it.

Deliberately choosing to be frugal allows a mature grace to rise. That grace does not stop with aesthetics. Rather, it flows into everyday literacy, whether it be consideration behind the scenes, accumulating charitable acts stealthily, or appreciating the modest things of everyday life.

Wabi-sabi may be interpreted as the Western “beauty of ruins,” but it does not involve being swallowed by a sense of emptiness or decadence. Rather, it is a strong positive aesthetic that leads to a detailed love for imperfection.

At a first glance, Japanese people may seem submissive and reserved, but at the

### 講座のご案内

世相等により掲載の予定(参拜方法含)は中止変更となる場合があります。最新情報のご確認は公式サイト・電話にてお願い致します。

#### 阿息観

密教の修行法として説かれた瞑想法で、僧侶が心を整えるために行っていました。呼吸方法から座り方など基本動作を学びます。



#### 写経

修行のひとつとされる「写経」。一字一字を写すことだけに集中いたします。ひと筆ずつ文字をしたためる時間の中で、自身の心を見つめましょう。



#### 御詠歌入門講座

金剛流御詠歌の入門講座。作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。

#### 仏典読み解き講座

仏典(仏教典籍)とは仏教における権威ある書物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳しく説いた『往生要集』を読み解きます。

#### 和文文化体験 いけばな

花のあるくらしは、心もやわらかにしてくれます。季節の草花と向き合い、その日出会った器に生ける。花をいつくしみ生かす精神と基礎を学び、日々を豊かにする体験講座です。(資格取得目的講座ではありません)



#### TERA・YOGA

ヨガの基本を優しくレッスンします。普段とは違う寺の雰囲気の中で月に一度の自分をねぎらう時間として。



予約は公式サイトでの利用が便利です。尚、下記表内、◆印は公式サイトにて、テーマ等の詳細をご確認いただけます。



講座名	時間	場所	講師	開講日   12月~2月	支具料	申込	備考
阿息観 (瞑想・密教禅)							
阿息観	14時~16時	-	杉浦宣秀僧侶	12/10・20 1/10・20・30・2/10・20	無	不要	座禅が組める服装
遊翠の心 阿息観	10時~12時 14時~16時	竹翠亭	西山海良僧侶	12/22・1/26・2/23	1,500円	要	座禅が組める服装
写経							
写経写仏はじめて講座	11時~14時 (法話13時)	光明殿	榊田英伸僧侶	12/21・1/21・2/21	1,000円	不要	時間内随時 初心者11時より
遊翠の心 写経	10時~12時 14時~16時	竹翠亭	西山海良僧侶	12/8・1/12・2/9	1,500円	要	—
御詠歌入門講座	14時~16時	光明殿	鈴木智弘僧侶	12/6・19 1/9・23・2/6・20	無	不要	—
仏典読み解き講座	10時~12時	普照殿	榊田英伸僧侶	12/18・1/18・2/18	無	要	特筆記用具
遊翠の心 水墨画	14時~16時	竹翠亭	山田静舟	12/18・1/22・2/26	2,000円	要	—
遊翠の心 きもの装い	初級10時~12時 応用13時~15時	竹翠亭	竹翠亭	12/2・9 1/13・20・2/10・17	2,000円	要	4月開始年間講座
遊翠の心 茶の古典を読む	10時~12時	竹翠亭	榊田英伸僧侶	12/10・1/7・2/4	1,500円	要	特筆記用具
和文文化体験 いけばな	13時30分~15時	-	華道高野山講師 小林弘子・平野裕子	12/17・1/21・2/18	3,000円	要	花材代含む 特花ばさみ・花合羽
遊翠の心 茶の扉	10時~12時 14時~16時	竹翠亭	竹翠亭	秋12/23	6,000円	要	全3回講座
子ども寺子屋くらぶ	10時~12時	竹翠亭	竹翠亭	期間中の予定なし	1,500円	要	—
一日修養会◆	10時~14時	光明殿	榊田英伸僧侶	12/12・1/17	2,000円	要	昼食代含む 特筆記用具
TERA-YOGA							
レギュラークラス	10時~11時30分	観音堂	西口のぞみ	2/21	2,000円	要	—
マタニティクラス	13時~14時10分	観音堂	西口のぞみ	2/21	2,000円	要	—

※(特)=持ち物 ※「遊翠の心」支具料は講座後の呈茶含む ※◆は公式サイトでテーマ等確認ください ※場所変更は当日境内掲示でご確認ください

六月

● 境内散策「表山老人クラブ八事山年輪会」

六月二十五日

朝 小雨の降る中集合が悪い。それでも午前十時には二十五名になり、中門いっぱい集まりになった。興正寺から井上さんにおいでいただき、懇切丁寧な説明を受けた。説明では案内書からは感じない興正寺のもつ深遠な感じを身に受けて聞いた。都心から三十分を要しないこの八事にこれだけの緑を鬱蒼と茂らせる興正寺の説明に熱が入り二時間近くの話だったが、コロナで外出できなかっただけに久しぶりの運動と心の保養になった。



● 阿息観体験

「中京大学附属中京高等学校サッカー部」

六月二十七日

日頃から練習場として使わせていただいている興正寺様にて、阿息観体験を行いました。何事にも感謝することや、呼吸の大切さなどを学ぶことができました。今回の経験を活かし、サッカー部もより一層精進していきます。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。 ※文・写真 同校サッカー部、企画部



七月

● 緑日調査「愛知県立総合看護専門学校」

七月十三日

文化人類学の実習として、緑日の参拝者のマスク着用率や行動観察をさせていただきました。99%の参拝者がマスクを着け、防衛効果が高い不織布を使う方が多かったことから、感染防御の配慮と知識の高さが明らかになりました。感染症に伴う心の負担が大変な時期ですが、緑の香りに満ちた八事の森を歩くことで気分転換やストレスを軽減し、興正寺へのお参りを通じてお互いに心を支え合う積極性は、参拝者の健康維持に良い効果をもたらすと推測されます。将来、医療現場で働く学生には心の支えが必要で、その一環になりうる信仰の場の有り様を観る機会をくださった参拝者、ならびに興正寺の皆様へ感謝いたします。 ※文・写真 同校



● 草取り「日本冬桜の会」

七月二十六日

興正寺公園に寄贈植樹した冬桜の世話の為、毎年七月に訪問し草取り枝切り水遣り等「年二回咲く冬桜を広げよう」を合言葉に「桜守水遣り隊」メンバー七人で暑さの中作業しました。これは社会貢献運動の一環です。 ※文・写真 同会



● 子ども寺子屋くらぶ「盛夏」

七月三十一日

夏休みの一日、有松に伝わる板締め絞りの藍染めを体験しました。丁寧に畳んだ晒し布を染液につけて引き出すとみるみる藍の色になり、広げると現れる手拭い一面の模様はどの子の顔も輝いていました。暑い中での作業の後は、水で作ったお茶碗で冷たいお抹茶を楽しみました。



八月

● 青葉まつり

八月四日

青葉まつりは「弘法大師降誕会」のことです。弘法大師空海さまの誕生日を祝う日です。お大師さまは千二百年以上経た今も高野山の地から見守り続けてくださっています。お大師さまのお陰様で今があることに感謝させていただきます。 ※文・写真 同会



● 盆・初盆・施餓鬼法会

七月十四日・八月二・十・十五日

盆施餓鬼合同供養会は例年に比べて遠拝者のお参りをされる方が多く見られました。

● 精霊送り

八月十五日

夕刻より例年とは違い、三密を避けての精霊流しを勤めさせていただきました。コロナ禍の中、来寺していただききた皆様にはご不便をおかけしましたが、山内僧侶が至心に読経し御先祖様をお送りさせていただきます。



● 布薩会

八月十六日

布薩会は仏教における戒律を僧侶たちが確認しあい日々の生活を見直す法会で、今年以前に興正寺で行われていた形で厳修いたしました。昔から続く多くの教えを守り、受け継いでいくことも私たちの勤めです。



九月

● 大般若経転読祈禱会

九月五日

今年最後の大般若経転読祈禱会を厳修致しました。年に三回勤める祈禱で今年には疫病退散の願いを込めて僧侶たちが転読を行いました。早くコロナが終息し、皆様が安心してお参り出来る日が来ることを願う次第です。

● 煎茶体験

九月十一日

名古屋に短期在住で、日ごろより日本文化に親しみ、理解を深めたいと切に願ってお越しの日本語圏の方々に。この日はご自身で縫われた浴衣のお披露目の日でもありました。優美で上品な煎茶作法を熱心にご覧になっていました。



● 清掃活動「八事本町クラブ」

九月十九日

早朝より清掃活動が児童公園で行われました。清掃後の公園の様子は、子ども達や皆さんが安心して訪れられる清々しい場となりました。ありがとうございました。



● 秋季彼岸会・人形仏具供養会

九月十九〜二十五日

ご先祖様への感謝のご供養を勤めさせていただきました。



● 子ども寺子屋くらぶ「秋」

九月二十六日

お月見団子が丸いのは月が満ちる姿。豊作祈願や収穫感謝に加えて、ものごとの結実、健康や幸福を表しています。



十五夜にはそれぞれの家庭でこの日に作ったお月見飾りで名月を愛でたことでしょう。秋の七草の名前も覚えま



● 千燈供養会・稚児行列

十月十一日

台風により一日順延となりましたが、澄み渡る青空のもと稚児行列、星降く夜空のもと柴燈大護摩祈禱を、本年も無事に勤めることができました。

今年は実家に帰省をするのが難しい方が多くおられたと思います。速くにもご供養の気持ちにはご先祖様に届いているのだと思います。



● 想耕茶会「花水の露」

八月八日

深山の湧水が川となり滝となり海へ至るまでの水の流れに心添わせる趣向の煎茶席。見立て道具の中に盆踊りのそぞろ歩きを重ねた冷抹茶席。お茶室の中にはこの夏にかなわなかった避暑の旅と夏祭りの賑いがありました。



● 観世音菩薩九万九千日

八月十日

観音堂にて九万九千日法会が執り行われました。本年はコロナ禍の為、三密回避の対応での法会となりました。また、九万九千日法会に合わせて、のほり幡奉納祈願をお勤め致しました。皆さまのおかげをもちまして、無事に九万九千日法会が終了いたしましたこと報告させていただきます。



他の活動報告

出張法話・講義

- 特別養護老人ホーム高坂苑「法話」
- 西田葬儀社友引カルチャースクール「阿息観・御詠歌」
- 各種体験・境内案内
- 鯉城会OB会「境内散策・呈茶・絵解き」
- 特定非営利活動法人愛知善意ガイドネットワーク「多言語ガイド研修」
- 名古屋若手職人「茶の湯体験」
- ティンカーベル「阿息観体験」
- 奉納・協賛など「興正寺より」
- 児童養護施設南山寮
- 児童養護施設和進館児童ホーム（おさがりのお福分け）

取材・掲載

- タウンニュースてんぱく(7/31)
- 東海テレビ「ニュースONE」(8/12)
- ローズ(9/19)
- あなたの知らない1000の名古屋(名古屋観光キャンペーン2/28まで)
- 日本テレビ「新・日本男児と中居」(10/23)

◆ 志納奉納ご芳名(順不同・敬称略)

千燈供養会高張提灯 興友会  
【令和二年六月〜九月】  
ありがとうございました。  
心より感謝申し上げます。合掌

お雑煮

日本各地で特色が現れるお雑煮は、年末年始になるとその話題で花が咲く日本文化を観じる食文化のひとつです。

名古屋では尾張伝統野菜の餅菜(別名・正月菜)と角餅をすまし汁でいただきます。その成り立ちには様々な説があるそう。尾張藩主の徳川宗春公が豪華な食事を食べていたところ徳川吉宗公に叱られたから。徳川家康公から続く質素儉約の武士文化が受け継がれている。「名(名古屋)をもち(餅)上げる」縁起担ぎとして。食文化を辿ると、人の想いに触れる時間を持てますね。

皆様の記憶にあるお雑煮は、どんな時間ですか。

- 材料(4杯程度)
- 角餅.....8個
  - 餅菜(代用 小松菜).....1株
  - 鶏もも肉.....100g
  - 醤油.....大さじ2
  - カツオ節.....お好みで
  - ◆だし汁.....600ml
  - ◆みりん.....大さじ1
  - ◆酒.....大さじ1
  - ◆塩.....小さじ1/2



- つくり方
- 餅菜は4cm程度に切り、鶏もも肉は小さく切ります。
  - 鍋に◆を入れひと煮立ちしたら、餅と①の鶏もも肉を入れます。
  - 餅が柔らかくなったら、餅菜を入れ、火が通ったら醤油を加えて器に盛ります。
  - お好みでカツオ節を添えます。ゆず皮も爽やかです。
- 綺麗に盛り付けるコツは、②の出汁を作った後に餅と餅菜を別鍋で温めると良いですよ

つむぎたい心



お大師様(弘法大師空海)の足跡を尋ね、四国へお遍路の修行がある。四国を一周すると1,200キロの道程だ。歩く40日、50日の日数が経過し、一日当たり20キロ、30キロを歩き通す事になり、足にはマメができ苦痛との戦いだ。また、遍路ころがし、と云われる幾つかの山寺巡拝は大変辛い修行となる。

近年ではバスツアーやマイカーのお遍路で体力が低下した方でもお大師様に近づくと力が叶う。

八十八番札所で結願(一番り八十八番迄巡る)すると多くの巡礼者が涙する。理由はお大師様への御礼と、ご先祖様へ供養の達成感、また四国の方々から優しいお言葉やお接待(施し)への感謝からであろう。

四国へお遍路を経験すると、また行きたくなると言い伝えられている。お四国病」という病気がある。

この病気はコロナなんかには負けない。

(守山区在住 六十九歳 早川正歩き遍路友の会東海会員)

投稿を募集します

皆さまのこぼれ話「つむぎたい心」を紹介します。文章のみの場合は400字以内。写真は2L判までで説明200文字以内、撮影場所、年月を明記。

[送付先]

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78「八事山文庫編集係」  
メールの場合は info@koushoji.or.jp 氏名・住所・電話番号・ペンネームを明記。  
※ 投稿や写真の返却は致しません。採否問合せや回答もお受けいたしません、ご了承ください。

◆令和三年 厄年・年齢早見表「数え年」

くようせい 九曜星	らごうせい 羅喉星	とようせい 土曜星	すいようせい 水曜星	きんようせい 金曜星	にちようせい 日曜星	かようせい 火曜星	けいとせい 計都星	げつようせい 月曜星	もくようせい 木曜星
吉凶	● 大凶	◐ 半吉	◑ 末吉	◒ 半吉	○ 大吉	● 大凶	● 大凶	○ 大吉	○ 大吉
きゅうせい 九星	ろっばくじんせい 六白金星	しちせきじんせい 七赤金星	はっぽうどせい 八白土星	きゅうしかせい 九紫火星	いっばくすいせい 一白水星	じこくどせい 二黒土星	さんべきむくせい 三碧木星	しろうくせい 四緑木星	ごおうどせい 五黄土星
	令3年/2021	令2年/2020	令1年/2019	平30年/2018	平29年/2017	平28年/2016	平27年/2015	平26年/2014	平25年/2013
	1 うし	2 ねずみ	3 いのしし	4 いぬ	5 とり	6 さる	7 ひつじ	8 うま	9 へび
	平24年/2012	平23年/2011	平22年/2010	平21年/2009	平20年/2008	平19年/2007	平18年/2006	平17年/2005	平16年/2004
	10 たつ	11 うさぎ	12 とら	13 うし	14 ねずみ	15 いのしし	16 いぬ	17 とり	18 さる
	平15年/2003	平14年/2002	平13年/2001	平12年/2000	平11年/1999	平10年/1998	平9年/1997	平8年/1996	平7年/1995
	19 ひつじ	20 うま	21 へび	22 たつ	23 うさぎ	24 とら	25 うし	26 ねずみ	27 いのしし
	平6年/1994	平5年/1993	平4年/1992	平3年/1991	平2年/1990	平1年/1989	昭63年/1988	昭62年/1987	昭61年/1986
	28 いぬ	29 とり	30 さる	31 ひつじ	32 うま	33 へび	34 たつ	35 うさぎ	36 とら
	昭60年/1985	昭59年/1984	昭58年/1983	昭57年/1982	昭56年/1981	昭55年/1980	昭54年/1979	昭53年/1978	昭52年/1977
	37 うし	38 ねずみ	39 いのしし	40 いぬ	41 とり	42 さる	43 ひつじ	44 うま	45 へび
	昭51年/1976	昭50年/1975	昭49年/1974	昭48年/1973	昭47年/1972	昭46年/1971	昭45年/1970	昭44年/1969	昭43年/1968
	46 たつ	47 うさぎ	48 とら	49 うし	50 ねずみ	51 いのしし	52 いぬ	53 とり	54 さる
	昭42年/1967	昭41年/1966	昭40年/1965	昭39年/1964	昭38年/1963	昭37年/1962	昭36年/1961	昭35年/1960	昭34年/1959
	55 ひつじ	56 うま	57 へび	58 たつ	59 うさぎ	60 とら	61 うし	62 ねずみ	63 いのしし
	昭33年/1958	昭32年/1957	昭31年/1956	昭30年/1955	昭29年/1954	昭28年/1953	昭27年/1952	昭26年/1951	昭25年/1950
	64 いぬ	65 とり	66 さる	67 ひつじ	68 うま	69 へび	70 たつ	71 うさぎ	72 とら
	昭24年/1949	昭23年/1948	昭22年/1947	昭21年/1946	昭20年/1945	昭19年/1944	昭18年/1943	昭17年/1942	昭16年/1941
	73 うし	74 ねずみ	75 いのしし	76 いぬ	77 とり	78 さる	79 ひつじ	80 うま	81 へび
	昭15年/1940	昭14年/1939	昭13年/1938	昭12年/1937	昭11年/1936	昭10年/1935	昭9年/1934	昭8年/1933	昭7年/1932
	82 たつ	83 うさぎ	84 とら	85 うし	86 ねずみ	87 いのしし	88 いぬ	89 とり	90 さる
	昭6年/1931	昭5年/1930	昭4年/1929	昭3年/1928	昭2年/1927	大15年/1926	大14年/1925	大13年/1924	大12年/1923
	91 ひつじ	92 うま	93 へび	94 たつ	95 うさぎ	96 とら	97 うし	98 ねずみ	99 いのしし

厄年とは一生のうちで何らかの厄難に遭遇する恐れが多い年齢をいいます。  
厄除けをするにあたり、一年の無事を願い御礼に身代わりになっていただき、その災いを少しでも小さくすることができます。 ※真言宗では男女共通の厄として考えます。  
赤字厄年：厄払い祈禱をおすすめします **特に注意** 大凶・体力低下を起こしやすい年齢なので要注意 **前厄** 本厄の前年で、注意が必要と言われています

◆年忌早見表

1周忌	令和2年逝去	3回忌	令和1年逝去 (平成31年)	7回忌	平成27年逝去	13回忌	平成21年逝去	17回忌	平成17年逝去
23回忌	平成11年逝去	27回忌	平成7年逝去	33回忌	平成1年逝去 (昭和64年)	50回忌	昭和47年逝去	100回忌	大正11年逝去

1月〔睦月〕

1 金 仏滅	修正会	初護摩祈禱会〔法人・団体〕 新年の室礼〔竹翠亭〕
2 土 大安 戌の日		
3 日 赤口		
4 月 先勝		
5 火 友引 小寒	縁日 大随求明王 <span style="color:blue">露</span> 大般若経読祈禱会 干支成満巡り	初護摩祈禱会〔法人・団体〕
6 水 先負	自動車図書館巡回日 <span style="color:red">休</span> 普門園	
7 木 仏滅	茶の古典を読む〔遊翠の心〕	
8 金 大安	縁日 大日如来	
9 土 赤口	20世祥月 御詠歌入門講座	
10 日 先勝	祥月忌合同供養会 (霊・圓・依・遮・永経・永納) 阿息観 <span style="color:red">申込×切</span> 1/17一日修養会 (WEB受付)	
11 月 友引 成人の日	<span style="color:red">休</span> 普門園	
12 火 先負	写経〔遊翠の心〕	
13 水 赤口	縁日 虚空蔵菩薩 <span style="color:blue">露</span> 干支成満巡り きもの装い〔遊翠の心〕	
14 木 先勝 戌の日	<span style="color:red">休</span> 普門園 <span style="color:red">申込×切</span> 1/17一日修養会 (来寺受付)	
15 金 友引	縁日 阿弥陀如来 興正寺初釜 <span style="color:red">休</span> 普門園	

16 土 先負	興正寺初釜 <span style="color:red">休</span> 普門園	初護摩祈禱会〔法人・団体〕
17 日 仏滅	祥月忌合同供養会 (圓) 一日修養会〔文殊菩薩〕	
18 月 大安	縁日 観世音菩薩 仏典読み解き講座 <span style="color:red">休</span> 普門園	
19 火 赤口		
20 水 先勝 大寒	<span style="color:red">朱</span> 成道会 (旧暦12/8) 阿息観 八事夢講座 きもの装い〔遊翠の心〕	
21 木 友引	縁日 弘法大師 <span style="color:blue">露</span> 初弘法 和文化体験いけばな マルシエ茶席 写経写仏はじめて講座 興正寺マルシエ	
22 金 先負	18世祥月 水墨画〔遊翠の心〕	
23 土 仏滅	安産合同祈禱会 御詠歌入門講座	
24 日 大安	縁日 地藏菩薩	
25 月 赤口	文化財防火デー消防訓練 <span style="color:red">申込×切</span> 星祭・節分 (郵送受付) <span style="color:red">休</span> 普門園	
26 火 先勝 戌の日	阿息観〔遊翠の心〕	
27 水 友引		
28 木 先負	縁日 不動明王	
29 金 仏滅		
30 土 大安	阿息観	
31 日 赤口	<span style="color:red">申込×切</span> 星祭 (来寺受付)	

2月〔如月〕

1 月 先勝	<span style="color:red">休</span> 普門園	初護摩祈禱会〔法人・団体〕 節分の室礼〔竹翠亭〕
2 火 友引 節分	星祭御札祈禱会 節分厄除祈禱会 想耕茶会〔福豆茶席〕	
3 水 先負 立春		
4 木 仏滅	茶の古典を読む〔遊翠の心〕	
5 金 大安	縁日 大随求明王 <span style="color:blue">露</span> 干支成満巡り	
6 土 赤口	御詠歌入門講座	
7 日 先勝 戌の日	祥月忌合同供養会 (霊・圓・依・遮・永経・永納) 13世祥月	
8 月 友引	縁日 大日如来 <span style="color:red">休</span> 普門園	
9 火 先負	写経〔遊翠の心〕	
10 水 仏滅	阿息観 きもの装い〔遊翠の心〕	
11 木 大安 建国記念の日		
12 金 先勝		
13 土 友引	縁日 虚空蔵菩薩 <span style="color:blue">露</span> 干支成満巡り <span style="color:red">休</span> 普門園 (15時より)	
14 日 先負	祥月忌合同供養会 (圓) <span style="color:red">休</span> 普門園	
15 月 仏滅	縁日 阿弥陀如来 <span style="color:red">休</span> 普門園	

16 火 大安		初護摩祈禱会〔法人・団体〕 桃の節句の室礼〔竹翠亭〕
17 水 赤口	きもの装い〔遊翠の心〕 八事夢講座 自動車図書館巡回日	
18 木 先勝 雨水	縁日 観世音菩薩 仏典読み解き講座 和文化体験いけばな	
19 金 友引 戌の日		
20 土 先負	阿息観 御詠歌入門講座	
21 日 仏滅	縁日 弘法大師 <span style="color:blue">露</span> マルシエ茶席 TERA-YOGA 興正寺マルシエ 写経写仏はじめて講座	
22 月 大安	<span style="color:red">休</span> 普門園	
23 火 赤口 天皇誕生日	阿息観〔遊翠の心〕	
24 水 先勝	縁日 地藏菩薩	
25 木 友引		
26 金 先負	14世祥月 水墨画〔遊翠の心〕	
27 土 仏滅	安産合同祈禱会	
28 日 大安	縁日 不動明王	

定期購読のご案内  
発行毎にお送り致します。お申込みは公式サイト・電話・来寺にて。(購読・送料無料)



公式サイト



Instagram



facebook

都合により予定が一部変更になる場合があります。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

朱 特別朱印授与あり 露 露店出店あり  
干支成満巡り(受付10時納経所前・無料/朱印代別途)

講座 | 縁文字 詳細確認・予約は 凡例  
公式サイト利用が便利です

霊=霊翁堂 依=法羅陀浄苑 遮=遮那奏苑 圓=圓照堂  
永経=永代祠堂 永納=永代納骨 休 普門園 = 普門園休園日〔竹翠亭含〕